

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	代表者	大西弘文	法人・ 事業所の 特徴	日の出医療服グループとして、住み慣れたご自宅・地域での生活のため、お客様一人ひとりに合わせたサービス提供に努めています。また、お客様や家族様の要望に柔軟に対応するとともに、潜在能力の維持向上・自立支援に努め、在宅生活が継続できるよう取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵西舞子	管理者	蛸原 史光		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	カンファレンスを定期的に行い、一人ひとりの支援方法を検討し、昼礼と書面でスタッフ間の情報共有を行う。	月2回程度カンファレンスを行った。カンファレンス内では利用者様の現在の課題や解決策を話し合うことができるようになった。	コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価の実施ができず。	全職員が利用者様のプランや目標を共有し最善の支援ができるようにする。感染対策を行いながら、地域の活動やイベントに参加する機会を徐々に増やしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染対策を徹底しながら、テーブルや備品の配置を流動的に変更し、利用者様それぞれが過ごしやすい空間を提供する。	感染対策を行いながらも、その都度利用者様の過ごしやすさようテーブルや椅子、ソファの配置変更を行った。	コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価の実施ができず。	感染対策を継続し、利用者様が穏やかに過ごせる環境を提供する。また、玄関前で花等を利用者様と共に育て、季節感を味わっていただけるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	感染対策に留意しながら、地域交流の機会を持てるよう地域との関りを増やす。	事業所としてはコロナ禍継続のため、地域との関わりを持つことはできなかった。	コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価の実施ができず。	地域会議や清掃活動、防災訓練等あれば積極的に参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染対策に留意しながら、その人らしい暮らしができるよう、地域と関われる機会を提供する。	地域の催し等には感染対策の観点から参加することができなかったが、利用者様には地域のスーパーで買い物をしていただく等の支援を行った。	コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価の実施ができず。	引き続き地域のスーパーでの買い物支援を行っていくとともに、地域の催し等あれば感染対策を行いつつ参加していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナウイルス感染の状況を確認しながら、運営推進会議の開催を検討する。	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、運営推進会議の開催はできていない。	コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価の実施ができず。	感染対策を行ったうえで、運営推進会議を開催していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災・災害対策の周知とシミュレーションを行う。	火災訓練には利用者様も一緒に消火訓練を行った。災害対策の周知は行ったが、シミュレーションについては不十分であった。	コロナウイルス感染拡大防止のため、外部評価の実施ができず。	事業所のBCPの見直し行うとともに、BCPの研修を行う。